

やすらぎだより

7
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第181号

「 10年の日々 」

施設長 植田 誠



ここ福住の新緑を叙景にしたグループホームむつみあい、平成22年5月に始まって以来10年が経過した。節目の催しを開催したいところだが、コロナ禍のご時世、代わりに10年在籍入居者様を中心にささやかな集いの場を設けることとなった。

思えばこの道程は、激動といえは言い過ぎ、波乱というには大袈裟かも知れないが、順風満帆とは言い難い10年であったと言えよう。運営の難しさ、人の問題、数多くの難題は現在も解決しているわけではない。しかし、これまで見せていただいた喜びと感動の日常は、10年という月日が決して意味のないものではなかったことをあらわしている。

高齢者グループホームは正式名を「認知症対応型共同生活介護」という。家庭的な環境と地域交流の下、ユニット単位で一人ひとり尊厳ある個別ケアを実践する場だ。

「是非、グループホームがやりたいです」

平成21年の春、特養で長年にわたり‘寮夫’（当時の用語）として経験のあるS氏は懇願してきた。実践を通して積み上げてきたその想いに、揺るぎはないと確信した。

同年の夏、天理市の選定を無事に経て翌年の開設が決定する。図面は私、彼は名称と運営を起案することとなり、‘むつみあい’は誕生した。その名前は、共に体験してきた特養旧館時代の居室名‘むつみ’とその10年前に建立した隣接する教会名から引用したという。‘仲睦まじい様’という意味は家庭的な場に相応しい意図ともなり、初代管理者となったS氏の目標ともなる。

平成22年4月30日桜花の中、多数の方をお招きした竣工式を終えた翌日、天理市内3番目のグループホームとして始まったのである。

以来10年、現管理者が中心となってその想いは引き継がれている。入居者のご家族そして地域、熱い想いと使命を抱くスタッフそれぞれが噛みしめるこの10年、その日々はこれからの大きな礎となるであろう。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ |
| ○在宅サービス事業所
居宅介護支援事業所 | ○介護予防関連事業 |
| 訪問介護事業 | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問入浴介護事業 | ○住まいの生活支援事業 |
| ○短期入所生活介護事業 | ○グループホームなごみ筒井 |
| ○在宅介護支援センター | |
| ○天理市東部地域包括支援センター | |